

カンブンナガ調査

内容

観光地化したことによる土地利用の変化

カンブンナガは昔ながらの価値観、習慣、考え方を伝統として受け継いでいると先行研究であきらかになっている。

村は外部の人がその村に参入することにより、伝統的なものが薄れ、その土地の固有の特徴がなくなっていく。観光地化することにより変わったものはなにであるのか、それを明らかにしていきたい。

観光地化が進めば進むほど人々の生活は変化する。その中で、生活の変化を顕著に表すのは土地利用なのではないだろうかと考え、観光地化する前と後の変化を調査していきたい。

観光地化することによる生活の変化(土地利用の変化)を調べるために聞き取り調査 & 実際に歩いて地図を描くということをする。

渡航日程

2月18日～4月5日

行き

▶2月18日 深夜バスで移動

鶴岡(23:05発)→東京(6:20着)

▶2月19日

前泊

▶2月20日

9:00発 東京成田国際空港

↓

19:20着 ジャカルタ スカルノハッタ国際空港

ホテルに一泊

▶2月21日

新幹線を使いpadjadjaran universityに到着

帰り

▶4月5日

13時30分発 スカルノハッタ国際空港

↓

4月6日

7時40分着 成田国際空港

現地でのスケジュール

※詳細な日程は決まっていない

・ボランティア活動

・カンブンナガ

2月25日

土地利用を調査
どこに何があるか
簡単に地図を書く

3月2,3日
観光客の参入による土地利用の変化
人々の生活の変化

3月16日

3月23日

English ver

- **content**

The transformation of land use into a popular tourist destination is evident in Kampung Naga. Previous research highlights its commitment to preserving traditional values, habits, and mindset as part of its heritage. However, the influx of visitors is gradually eroding these traditions, leading to a diminishing of the village's distinctive features. It is crucial to explore and unveil the specific changes brought about by tourism in order to understand and address the impact on Kampung Naga's cultural landscape.

- **research background**

The more tourism development progresses, the more people's lives undergo changes. Within this context, I believe the most conspicuous aspect is related to land use.

- **plan**

To investigate these changes, we will conduct interviews and on-site mapping, comparing the periods before and after the impact of touristification.

schedule during I stay in indonesia

time priod

20th January to 5th Aplil

▶20th January

9:00(departure) Narita airport

↓

19:20(arrive) Bandar Udara Internasional Soekarno-Hatta

I will stay in a hotel near by airport

▶21th January

Maybe ibu vire or someone pick me up from airport.

•volunteer

•research in kampung naga

2024年2月23日

8時 家を出る

朝のrestaurantまでの道は朝8時でバイクと車がたくさんある。



音楽を流しラジオ体操をする学校のような場所



フットボールをする人たち(試合のようなものをしていた)in unpad



8時15分 朝ごはんを食べに15分かけてレストラン『Rumah makan Sambal bakar Hj Assih』に行く



information of restaurant

time:Until 7pm

家族で経営をしている

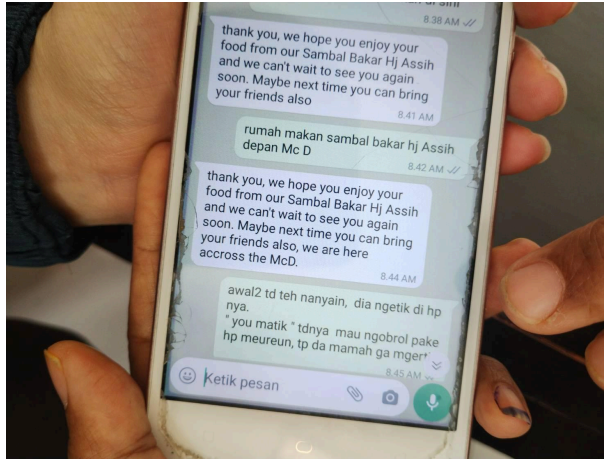
母、姉妹で2年前から営業 英語は子供は喋れるが母親は喋れない。

娘:Eka Yuliana

Ibu Ekaにはバンドンに娘がいる。娘は英語がペラペラ。私と話しながら、娘に翻訳してもらっていた。

Ibu eka の娘: Hanifah

Muhammadiyah Universityにっている。



昨日もここに朝ごはんを食べに来て、インドネシア語を喋れない私にすごくニコニコしながらekaのお母さんがしゃべりかけてくれた。今日はekaが話しかけてくれ、写真2のように言われた。若干人が来なくて困っているのかなと感じた。朝は人が入っているところを見たことは今のところない。次は違う時間帯に来てみる。ご飯を食べていると、目があまり見えなさそうなおじいちゃんがきた。握手を求めてきて、私は個々の店の人だと思い握手をした。後でibu ekaに聞いてみたらpoor manといわれた。毎日お金を渡しているらしい。なぜかは聞けなかったため、次の機会があったら翻訳機を使って聞いてみたい。注文して7分で出てきた。いつも、ekaのお母さんが作っているようだ。

sambal bakar ayam 2000k

鉄板鍋のような沸騰した状態で出てきた。熱く手からいお料理



ご飯を食べ、お金を払った。
ibu ekaのお母さんの投げキッスでまた明日とばいばいした。

10時30分 滞在場所の近くのカフェに行く
写真を撮り忘れた
Rp. 30k カプチーノみたいな感じのやつを注文

10時55分 fadhiと話す
unpadのobで30歳子持ちの男(ムスリム) 昨日もカフェにいたから毎日通っているのではないかと大学に勤務。詳しい仕事内容はよくわからないので次あったときに聞いてみる。

話しかけてきた。

友達がシャツのプリントのデザインをしていて、モデルに興味がないかと誘われた。

というのも、日本のアニメのデザインだったため日本人を探しているようだった。

日本に宗教がないときき、何が人生のゴールなのかと質問された。

fadihはムスリムで若い時に自分の道を見失い2度自殺しようとしたことがある。そこで救われたのが宗教だとのことだ。この世界は本物の世界ではない。本物の世界は死んだ後にやってくる。今の人生はゲームみたいなものだとのことだった。日本の少子化問題にも疑問を持っているようだった。

旅が好きみたい。

時間不明 散歩

ゴミ収集車



車道は整備されているが、人が歩く道は歩きにくい



激安移動手段()扉はあけながら走行
とまるときはとまるボタン、この乗り物の
走行ルートを知りたい

インドネシアで有名なコンビニ



道の端によくある屋台、飲み物揚げ物スイーツを
販売
坂道が多い主道路のはずれ



隣の建物の間に細い隙間がある
結構こういうつくりが多め、人がきちんと通る



子供がいっぱいいた
中に家の人だったが、一人でも外に入れる
ということは、治安がいいのかも

どの場所にもバイクに乗っている人がいた
走行禁止区域とかなさそう
いくら、外れた道でも人がいる



解体したまま放置している建物

電線の多い電柱、竹の電柱もあった



坂道が急かつ多い、水路がたくさんある。雨季だからか水がどこでも流れていた



家に果物

池のようなところが富栄養化していた
近くの木で子供が遊んでいた



歩きながら販売する人



病院



道中でカメラ持っているねと声をかけてきた人



帰りにジュースを買った
 ジャスミンミルクティーをオーダータピオカは切らしていた
 2.5k



帰りに歩いたところをマークするために近くのコピー屋さんにいった
 大きいお金しかなくて、お金いらないよと言われた
 パソコンがコピー機とつながっていた



15時 寮に帰る

16時 オドンを使ってagricultureに行く

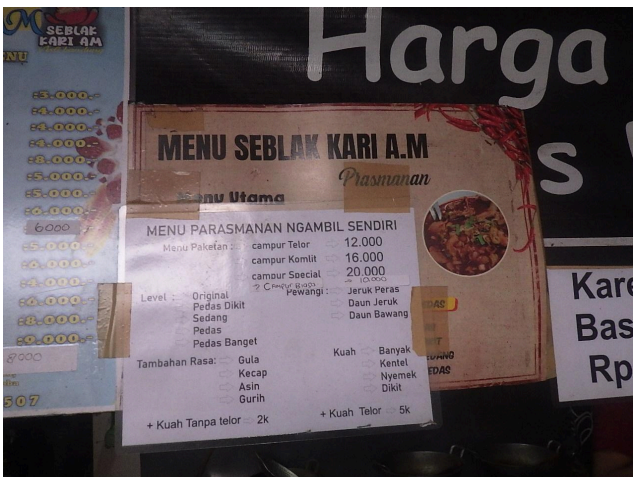


17時 友達と近くの出店に食べに行く

11kの揚げバナナ。目の前で注文が入ってからあげてくれた。
店主はワンピースが好き。日本語をちょっと喋れた。



seblak 20kあたり
 辛さは5段階選べる
 たくさんの具材を選べる。具材から値段を設定。食べ終わった後に会計した。
 一つ一つフライパンで作っていた



ATMで寮のお金3500000ルピアを払ってもらう。手数料は6000ルピア



チョコ春巻きを、出来立てをもらえた。



抹茶アイス 80k『wedrink』
有名なアイスクリーム・ドリンクショップ



ムスクのなか、二階あり 上が女性、下が男性。レンタル用の衣服があった。男性がマイクで歌を歌い(アラビア語)始める。お祈りの合図だそうだ。



2024年2月24日

7時30分 家を出る
レンタルbeam 2分14秒 1400ルピア
歩いて昨日いった道を散策
bapau desima 5.000Rp 中には豆の甘い餡が入っていた
4種類くらいから選べるが、インドネシア語が話せなかったため適当に選んだら甘かった
鶏がたくさんいる農園

トウモロコシ畑
農場
広い農場で機械を使わずに手作業
重そうな袋でさえ車輪を使わずに人力
トイレに行きたくなり道を歩いている人にトイレ行きたいと言ったら家のトイレを貸してくれた
小さい穴に水がたまった桶みたいなものがあるトイレだった

学内のbeamで学内探検(17分くらい)
学内にはかなり大きいフィールドがあった
さらに、牛小屋もあり牛が結構たくさんいた。

12時16分 モールに到着 ここら辺では一番大きい
gojek使用
beksoを食べる。34k
bakso lapangan tembak senayan jatinangor town square
タピオカジャスミンティー 13k mixue
2:25映画を見る 40k
持ち込みはできない
本編と予告の区別がつかなかった
4つ選べたが、そのうち3つはホラー映画
ポップコーンや飲み物を中でかえる
小学生らしき人も入ってきていたから年齢制限がないのか
本編前の注意映像もなかった
始まる前に売り子がきて大きな声で営業していた
90分の映画
16時8分終了

スナックを買った(スーパー)
袋料金もちきんと取っていた
モールの中は子供用カーに乗っている子がおおかった
店内に入るとすぐに店員さんが話しかけてくる

帰りに文房具屋に酔った
たくさんのペンとノート
全部袋に包まれていて中の様子が見えなかった

17:07 gojekで家に帰る

ibu viralに会いに19時くらいに寮を出てタクシーで移動

2月25日

7:17 on foot
I went to the morning market.the name is "paun"
寿司が外で売られていた





朝から採れたての果物を並べていた。ぐらむで量り売り





ドリア





偽物の花

there are a lot of people in the market.

it was hard to go ahead because of crowded.

there are a lot of stuff in there. kinda food, clothes, plants, snack, hiyoko, fruits and accessories.

果物は朝にとれたであろう葉っぱのついた。蛇の肌みたいな果物は2キロ15k。

寿司は常温でうられていた。

着ぐるみを着た人もいて、お金をあれで稼いでいる。一緒に写真を撮ったり、踊ったりしてお金をもらうらしい。

結構怖い見た目をしているので子供に好かれるか謎だった。

es telerをたべた。20kくらい。

インド料理らしい。パラパラしていておいしい。

料理を食べている最中に男の子がマイクをもって歌い始めた。これでお金をもらおうということだった。

女の子が黙ってお金をもらいに来た。一緒に来た友達がお金を渡し、黙って去って言った。

Alpkat Milo 13k

2、3年後にアミューズメントパークを開いたようだ。いろんな遊具があるようだった

10時帰宅

12時—14時 ミーティング

16時 散歩に行った 徒歩、beam

17時4分マック食べた

めっちゃ混んでいた

細い道をあえて言っていたら急に田んぼに出るのが不思議

マックは日本とあまり変わらない50.5k

ダブルチーズ ポテト ドリンクセット

食べている最中に停電した。すぐ戻った

今日は寮が16時くらいから18時くらいまで停電していた。なぜかはわからない

2月26日

7時10分 家出る

7時27分 sotoをたべる20kくらい

8時 朝の駄菓子屋さんみたいなところによる19kくらいのお買い物

塩辛いものから、甘いものまで取り揃えていた

2月27日

学内の朝食を食べる

揚げ物4個 4k

メロンジュース

15時45分 バトミントンをしに行く

日本料理を食べに行く

2月28日

5時30分家をでる

インドネシア散策

朝のインドネシア 月が透けて見える



朝からサクサクのせんべいみたいなご飯と一緒に食べるやつを大量に持ち歩く

一本道になっている



建設中の建物(Or壊している)骨組みが鉄ではない点が日本との違いを感じるこら辺はきれいな一本道だったためしかも道路がきちんと整備されていたため新しく開発された道なのではないかここも新しくなり

便利な場所になっていくのか





細い道











朝ごはん一つ30円で揚げ物が買える揚げバナナ揚げバナナドーナツ中に春雨が入った春雨野菜のかき揚げみたいなやつ





女子大生



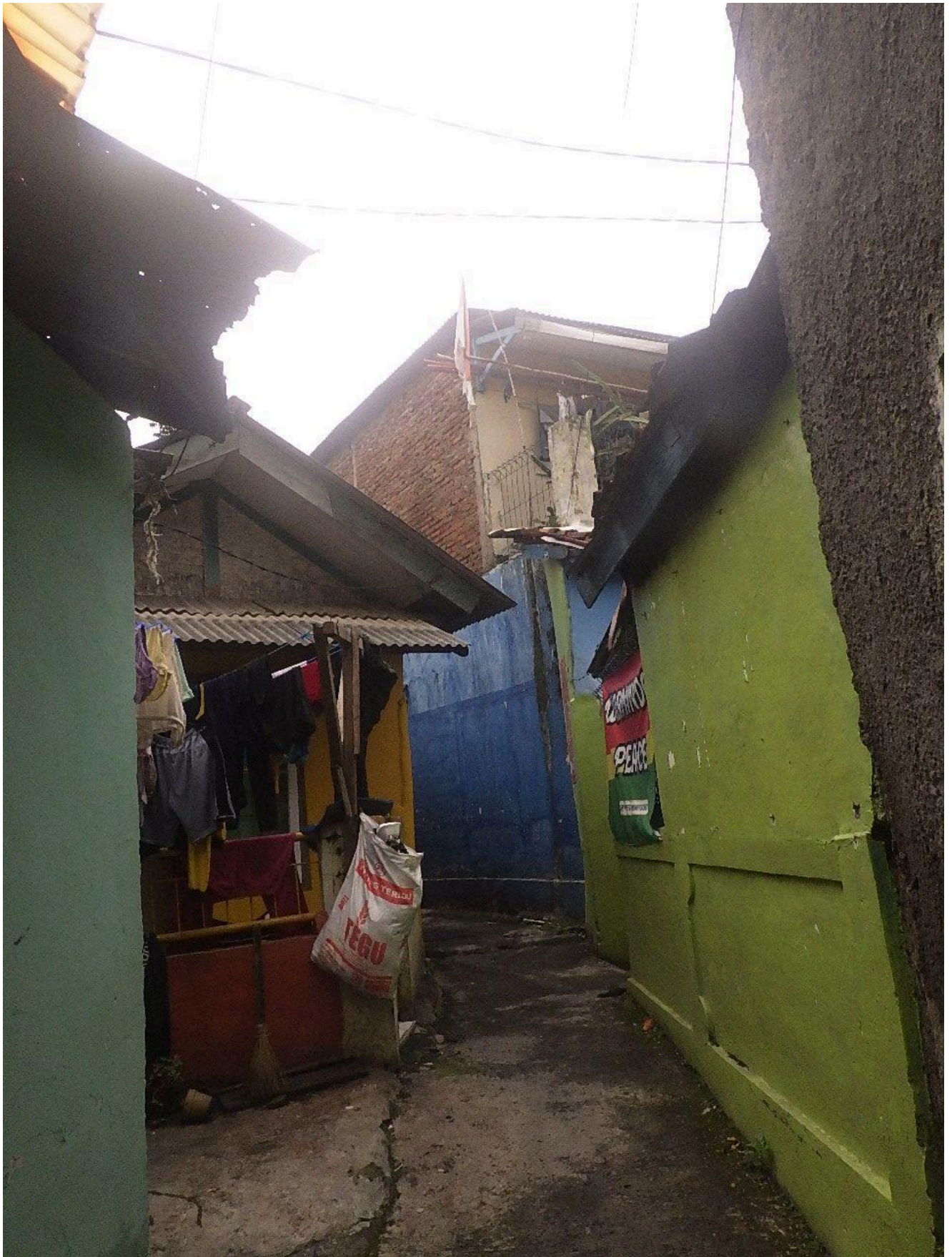
ライチジュース

ライチジュースの下から散策しながら歩いてカフェに行く





大学近くの細い通り、人々の生活観があふれる大学生もここを通っていた。下水道のにおいがする





ごみ処理場



家がオレンジ傾斜に建てられていて全体の家の方がわかる



お店レストラン & 野菜販売



plumeria
nasi ayam sambal 28k
black tea essential 26k

17時8分
ケバブ屋さんでご飯
10k
友達ができた

2月29日

8時30分 家を出る

卵の春巻きみたいなやつ 10k



野菜のかき揚げとドリアンとバナナの揚げ物 一個 1k

9時5分 バンドンに向けたバスに乗る 5k

13時17分 バンドン着

バンドンにつき歩いていたら夫婦が話しかけてきてガイドしてくれるという

・英語とドイツ語が流暢

英語は歌から学んだ

大学はっていない

高校を卒業してからはゴミ拾いをしてお金を稼いだ

電子機器を修理する仕事に就いた

ガイドをしている

家を失いホームレスになったことがある

子供が三人。2人娘1人息子

息子18歳 娘中学生

息子は高校にはっていない。そのくらいのお金がない。娘が中学に通っている

妻は英語が話せない。心臓に疾患を抱えているらしく。家での仕事をしている。そしてペースワーカーを心臓につけている。手術をするのにお金がいるから携帯を打って今は携帯を持っていない。

ビットコインを無料でゲットする話をしていた。昔はそれをしていたが、今は携帯がないからできないと言っていた。

息子娘には自分たちがしたいことをさせたい。と言っていた

バリが嫌い。観光客のための島らしい。すべてが高い

バンドンのことはほとんど知っているという。彼を見てにこにこしていた通りすがりの人がいた。結構知り合いが多いのか。

様々なところを慣れているように案内してもらった。

ムスリムの人々は携帯を盗むようなわるいことはしない。と言っていたが

携帯をぬすんだことがあるとのことだった。(携帯を持っていないのにどうしてビットコインができるのかと聞いたときに盗んだと言っていた)

妻との出会いはバスのホームに可愛い人がいるから話しかけたということだった。

娘息子は自分たちの子供ではないと思うくらい美しいと言っていた。

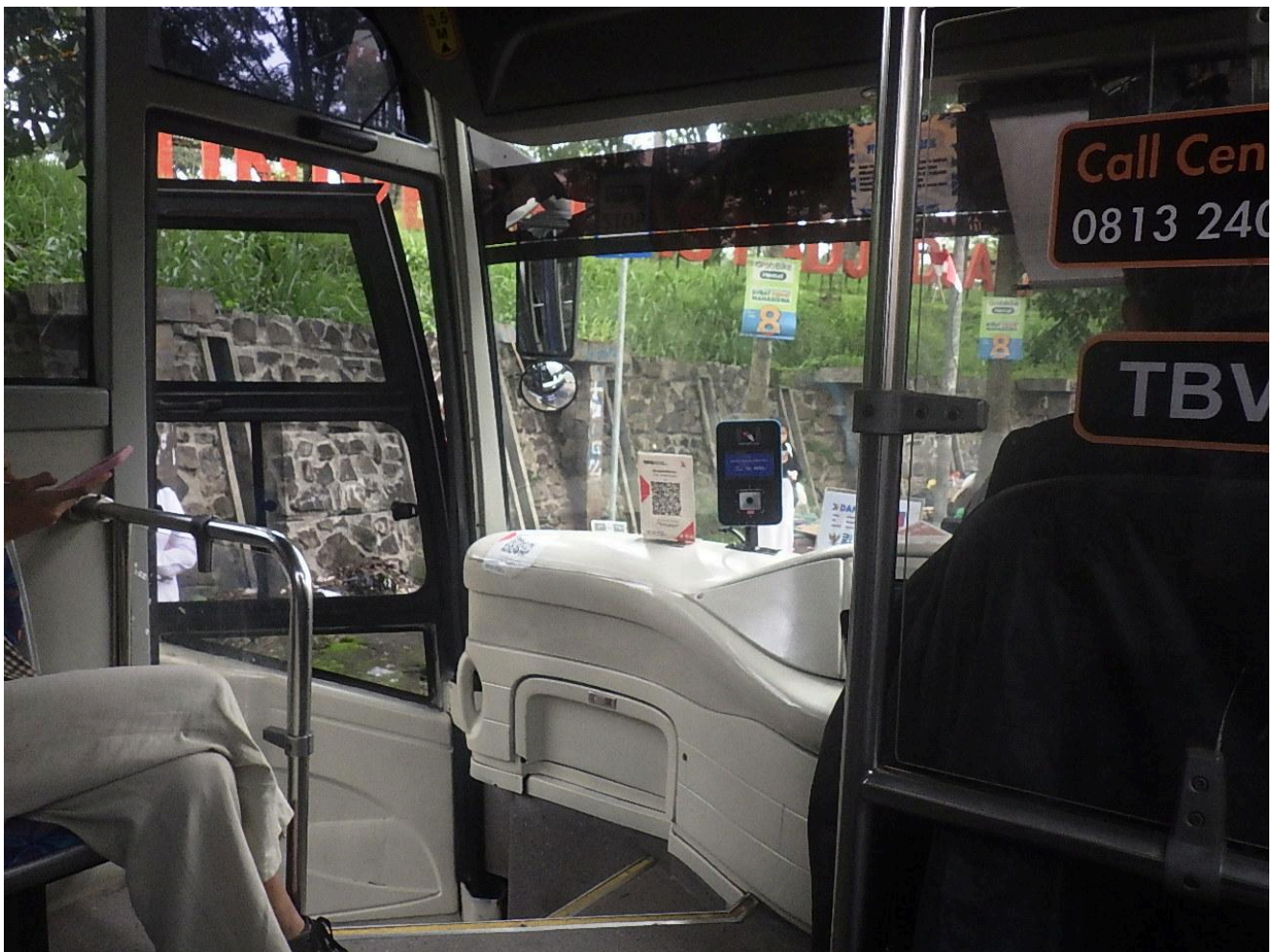
最後に何円払えばいいかと聞いた。そしたら、妻にあげてくれ。俺よりも欲していると答えた。同じ財布になるんじゃないのかと疑問に思ったが女の人に30kだけ渡した。

最後に、あなたはあなたの道を進めといわれた。

フェイスブックでビットコインを稼いでいた。その携帯は盗んでいたと言っていた。

この男性はホームレスから今や子供と妻を持っているということで近くの大学から2度インタビューを受けているそう

このバスに乗って移動朝にもかかわらず多くの人が乗っていた



有名植民地時代を感じさせる建物(現在は博物館になっている)



観光バス





列が長かったカフェ



アンティークなつくり



ムスリムの国にもかかわらず裸の像があるとガイドの人がバンドンで一番ユニークなところと紹介してくれたkolongdam軍事施設



す



線路

片方しか踏切がなかった



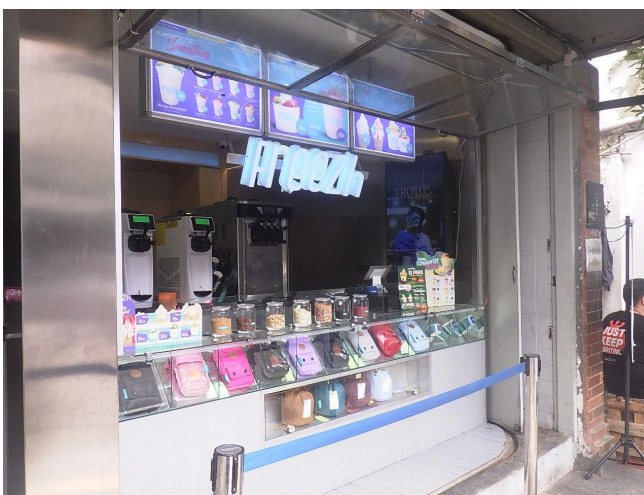
駐車禁止マークがたくさんある



ガイドさんの顔



あいすく



ヨーグルト味のアイスを食べる何種類かのトッピングの中から2つトッピングを選ぶ25K『FREEZH』



チキン11K ごはん？おひるごはんで食べた



バスの中で仲良くなったPADJADJARAN UNIVERSITYの方たち
いろんなBAHASA INDONESIAを教えてもらった

pd saudara motor 1時49分

↓gojek

gebrang monumen nasional

バス停

↓5k 2時間くらい

padjadjarang university

夜ごはんは昼にかったチキンとご飯 sateをgojekで注文



34K Warang sate solo madu mekar, jatinangor
sate ayam

ピーナッツソースのような感じ

友達のバイクで家まで帰る

3月1日

8:44 indomaretでRp.48.500

↓gojek Rp.12.000

9:02 バザー・レジク・ジャチナンゴーに行く

↓

9:29 jatos の前で



12:05 友達と言語学科がある食堂でご飯を食べる



crieng 中には鶏肉、外は揚げもちのような料理





21k soto牛肉



自由にとってお金を払う形式

library|にいった



padjadjaran uniの交換学生が来ていた。
かなり多くて驚いた。



3月2日

9:00 大学近くでご飯を食べる

lontong sayur orem orem khas malang 12k





屋台でサツマイモのてんぷらを買う 1k



6種類くらいのレパートリーがあった。食べたときにはまだ暖かった。
屋台の前で座りながら食べている人もいた。おばあちゃんがあげていた。

15:00 雨が降り出したので外を探検しに行く
普段よりもバイクが少なく感じる





15:30 『ayam cepuk』 paket gedhe khentir 4を食べる34k
nasi lalapan dada pedas sateusus tahu telur goreng
あげすぎた鶏肉という感覚 硬かった 周りには女子大学生のような人が多かった





16:00 屋台に売っていたお芋の丸井揚げ物を食べた10k
若い女性店員だった





16:30 lawsonに行く。

おでんが今人気らしい。一つ12k

lawsonの品ぞろえは日本と比べたらあまり整っていない。スナック系のお菓子が多かった日用品が売られていた。洗剤、実用品、美容品など

甘いお菓子は輸入が多く、値段もインドネシアにしてはお高めだった。

イートインスペースは広く、学生が勉強やおしゃべりをしていた。



17:10 焼きトウモロコシを買う。甘いのか辛いのが選べる。10k
炭火で一本一本注文が入るごとに焼いていくスタイル
普段はここにトウモロコシを打っているところはないから移動でテントを張って売っているようだ。その場で
食べれるスペースもあった。若いお兄さんが焼いていた。





普段よりもこの車が多く感じた。

雨だったがお店は思ったよりも空いていた。雨宿りを屋根のある所でする人もいた。
傾向としては雨が降ったら家を出ない傾向にあった。友達と話しているときも雨が降る時間帯の時はなるべく家にいるといっていた。





3月3日

8時7分 カンプンナガに出発

11時 到着

15時 車に乗り、帰る

17時34分 ご飯を食べる

自分でサンバルを作れるお店に行く

スンダ料理を扱う

自分でサンバルを調合できる。





サンバルを調合した









3月4日

全体的にいろんな生活を送っている人がいて、
一か月いるのをうまく使う。

定点観測 時間帯と場所
マーケット・市場

市民農園の調査
移民が管理・何を作っているのか
5か所6か所

バンドンで複数あるところで
産直大きめの路上やさいうりがやっているのか。何人やっているのか
違いを見つける
どこからきているのか。縄張りがあるのか。複数回することで比較